

大学院特別講義／シグナル伝達医学講演会

# 多彩な生命現象を制御する 細胞接着－転写因子連関

A novel crosstalk between cell adhesion and  
nuclear receptor signalings controls diverse cellular processes

日時：2019年9月2日(月) 17:00～

場所：神緑会館 多目的ホール



千葉 英樹 先生

福島県立医科大学基礎病理学講座 教授

## 【講演要旨】

生体が組織・器官・臓器を構築し多種多様な機能を発揮するためには、細胞接着が必要不可欠である。細胞接着分子は「糊」として細胞を繋ぎ止めるのみならず、シグナル伝達の「ハブ」としてもはたらく。しかしながら、細胞接着シグナルの実体や寄与する細胞機能については不明な点が多い。本講演では、細胞接着シグナルが転写因子の活性を左右することによって標的遺伝子の発現を制御するしくみを紹介したい。今回はタイト結合分子クローディンによる細胞接着を起点とし、レチノイン酸受容体やエストロゲン受容体といった核内受容体スーパーファミリーを終点とする新規シグナル伝達経路を提示する。また、がん細胞がこの細胞接着－転写因子連関を乗っ取ることで悪性形質が増強される例を示す。さらに幹細胞が自身の細胞間接着分子の細胞外ドメインを切り出すことで、自らに利するニッチをつくり出すデータについても供覧する。

担当：細胞生理学分野 南康博（内線：5561）

主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係（内線：5195）

e-mail：k9shien@med.kobe-u.ac.jp